



2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年8月3日

上場会社名 ホクト株式会社 上場取引所 東
 コード番号 1379 URL http://www.hokto-kinoko.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 水野 雅義
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長 (氏名) 高藤 富夫 TEL 026-259-5955
 四半期報告書提出予定日 2020年8月12日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	16,651	5.8	601	—	662	—	255	—
2020年3月期第1四半期	15,738	14.3	△610	—	△735	—	△582	—

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 749百万円 (—%) 2020年3月期第1四半期 △680百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	8.16	7.08
2020年3月期第1四半期	△18.39	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	104,091	49,747	47.8
2020年3月期	100,602	50,545	50.2

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 49,747百万円 2020年3月期 50,545百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	10.00	—	50.00	60.00
2021年3月期	—				
2021年3月期（予想）		10.00	—	50.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	33,700	4.8	570	—	630	—	390	—	12.47
通期	72,800	2.2	4,340	10.6	4,510	7.7	2,740	78.9	87.55

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期1 Q	33,359,040株	2020年3月期	33,359,040株
② 期末自己株式数	2021年3月期1 Q	2,077,807株	2020年3月期	2,096,197株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期1 Q	31,272,090株	2020年3月期1 Q	31,682,788株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、極めて先行き不透明な状況が続きました。緊急事態宣言の解除後、経済活動は徐々に再開しておりますが、引き続き感染症の再拡大や金融資本市場の変動、米中貿易摩擦などの影響を注視する必要があります。依然として厳しい状況が続くと見込まれています。

このような経済環境の中、当社グループは引き続き中期的な事業展開に向けた新たな課題に対応するため、「お客様のニーズにお応えした商品戦略、事業戦略の構築」を主眼に置いた経営戦略を実践し、市況に左右されない強靱な企業体質を構築するべく、事業活動を推進してまいりました。当第1四半期もきのこの事業を中心として、健康食材である「きのこ」の研究開発、生産、販売を通してより多くの皆様へ、おいしさと健康をお届けできるよう事業活動を行ってまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の当社グループの業績は、売上高166億51百万円（前年同四半期比5.8%増）、営業利益6億1百万円（前年同四半期営業損失金額6億10百万円）、経常利益6億62百万円（同経常損失金額7億35百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益は2億55百万円（同親会社株主に帰属する四半期純損失金額5億82百万円）となりました。

なお、当第1四半期連結累計期間の生産量は、ブナピーを含めブナシメジ10,650 t（同3.9%増）、エリンギ4,305 t（同5.2%減）、マイタケ3,309 t（同1.2%増）となりました。

当第1四半期連結累計期間の各セグメントの概況は次のとおりであります。

「国内きのこの事業」

生産部門におきましては、衛生管理を徹底し、品質の向上と安定栽培に努め、安全・安心なきのこを提供してまいりました。また、台風19号の影響により被災した赤沼きのこセンターですが、復旧作業を続けてまいりましたが、6月中旬には再出荷致しました。

研究部門におきましては、品質管理体制の強化、付加価値の高い新製品の開発およびきのこの薬理効果や機能性の追求に取り組んでまいりました。

営業部門におきましては、健康・美容・スポーツを3本柱とした「菌活」を提唱し、鮮度に拘った営業活動を行ってまいりました。販売面では、新型コロナウイルス感染症の影響で内食志向が進み、免疫力向上への関心が高まったことなどがきのこの需要喚起に繋がりました。また、春先の低温により野菜の品薄基調が続き、きのこの価格は前期を上回る状況で推移いたしました。

以上の結果、国内きのこの事業全体の売上高は112億円（同9.9%増）となりました。

「海外きのこの事業」

米国の現地法人「HOKTO KINOKO COMPANY」におきましては、引き続き非アジア系市場に注力しておりますが、その中身はフードサービスが中心であり、新型コロナウイルス感染症の影響により多くのレストランが休業を余儀なくされたため、売上は低調に推移いたしました。台湾の現地法人「台湾北斗生技股份有限公司」におきましては、小売りは新型コロナウイルス感染症による大きな影響は見られず通常通りの販売となりましたが、外食はかなり苦戦しました。柱である小売店への販売が安定していたことにより、全体が苦戦した中で大きな落ち込みもなく、売上高は計画を若干下回る程度と善戦しました。マレーシアの現地法人「HOKTO MALAYSIA SDN. BHD.」におきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により、内食が伸びたことでのきのこの需要が伸び、売上高は計画を上回りました。

以上の結果、海外きのこの事業全体の売上高は10億15百万円（同13.3%減）となりました。

「加工品事業」

加工品事業におきましては、水煮・冷凍などのきのこの加工品の販売を行うとともに、水煮・冷凍・乾燥アイテムの開発および市場開拓に取り組んでまいりました。しかしながら、新型コロナウイルス感染症の影響で内食志向が進み、来店客数が減少したことなどにより外食関連やコンビニエンスストアの売上が伸び悩みました。通販事業では、健康食品・レトルト食品を中心に販売強化を図ってまいりました。また、子会社の株式会社アーデンにおきましては、OEM製品が好調に推移し、売上が増加いたしました。

以上の結果、加工品事業の売上高は19億99百万円（同7.6%増）となりました。

「化成品事業」

中核である包装資材部門におきましては、新型コロナウイルス感染症が拡大している環境下、衛生用品の安定供給に努めるとともに、環境に配慮した包装資材の提供に尽力して参りました。また、農業資材部門におきましては、原料等の安定供給のほか、農業栽培におけるアドバイザー業務を強化して参りました。新規戦略部門におきましては、昨年10月の台風19号により被災した豊野工場の一部稼働を果たし、安定稼働と製品受注の強化に努めてまいりました。

以上の結果、化成品事業の売上高は24億35百万円（同3.2%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産、負債、純資産の状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は286億46百万円となり、前連結会計年度末より34億34百万円増加いたしました。これは主に、現金及び預金32億18百万円の増加によるものであります。固定資産は754億45百万円となり、前連結会計年度末より55百万円増加いたしました。

この結果、総資産は1,040億91百万円となり、前連結会計年度末より34億89百万円増加いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は294億85百万円となり、前連結会計年度末より68億99百万円増加いたしました。これは主に、短期借入金54億99百万円の増加によるものであります。固定負債は248億59百万円となり、前連結会計年度末より26億11百万円減少いたしました。これは主に、長期借入金29億71百万円の減少によるものであります。

この結果、負債合計は543億44百万円となり、前連結会計年度末より42億87百万円増加いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は497億47百万円となり、前連結会計年度末より7億98百万円減少いたしました。これは主に、その他有価証券評価差額金4億24百万円の増加及び親会社株主に帰属する四半期純利益2億55百万円を計上し配当金15億84百万円を支払ったこと等による利益剰余金13億28百万円の減少によるものであります。

この結果、自己資本比率は47.8%（前連結会計年度末は50.2%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、内食志向が進み、免疫力向上への関心が高まったことなどがきのこの需要喚起に繋がりました。また、春先の低温により野菜の品薄基調が続き、きのこの価格も堅調に推移した結果、売上高および営業利益は計画を上回りました。これにより、第2四半期の業績予想を上方修正いたしました。

一方、通期の業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の終息時期の見通しが立たない状況であることおよびきのこ市場が暖冬などの天候要因や市場の需給環境に影響されるなど通期の見通しに対し不透明な要因もあることから、2020年5月15日公表の通期予想を据え置くことといたしました。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,178	15,397
受取手形及び売掛金	5,798	5,550
商品及び製品	1,823	2,207
仕掛品	3,643	3,813
原材料及び貯蔵品	688	685
その他	1,122	1,036
貸倒引当金	△43	△43
流動資産合計	25,212	28,646
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	63,960	63,835
減価償却累計額	△28,633	△28,485
建物及び構築物(純額)	35,327	35,350
機械装置及び運搬具	57,268	58,038
減価償却累計額	△40,373	△41,594
機械装置及び運搬具(純額)	16,894	16,444
土地	13,854	13,787
その他	3,037	2,923
減価償却累計額	△1,841	△1,871
その他(純額)	1,195	1,051
有形固定資産合計	67,271	66,633
無形固定資産		
のれん	188	170
その他	115	107
無形固定資産合計	304	277
投資その他の資産		
投資有価証券	5,794	6,419
退職給付に係る資産	570	581
その他	1,468	1,551
貸倒引当金	△20	△20
投資その他の資産合計	7,814	8,533
固定資産合計	75,389	75,445
資産合計	100,602	104,091

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,873	6,418
短期借入金	4,437	9,937
未払法人税等	1,240	210
賞与引当金	1,094	698
その他	9,939	12,219
流動負債合計	22,585	29,485
固定負債		
長期借入金	16,680	13,708
新株予約権付社債	9,982	9,982
退職給付に係る負債	356	362
資産除去債務	194	197
その他	257	608
固定負債合計	27,471	24,859
負債合計	50,056	54,344
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,500	5,500
資本剰余金	5,697	5,697
利益剰余金	43,130	41,801
自己株式	△3,925	△3,889
株主資本合計	50,402	49,110
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,143	1,567
為替換算調整勘定	△498	△448
退職給付に係る調整累計額	△502	△482
その他の包括利益累計額合計	142	637
純資産合計	50,545	49,747
負債純資産合計	100,602	104,091

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上高	15,738	16,651
売上原価	12,462	12,374
売上総利益	3,276	4,277
販売費及び一般管理費	3,887	3,675
営業利益又は営業損失(△)	△610	601
営業外収益		
受取配当金	84	69
受取地代家賃	36	35
その他	34	40
営業外収益合計	155	145
営業外費用		
支払利息	21	20
為替差損	253	57
その他	5	6
営業外費用合計	280	84
経常利益又は経常損失(△)	△735	662
特別利益		
固定資産売却益	0	38
その他	0	—
特別利益合計	0	38
特別損失		
災害による損失	—	148
その他	0	0
特別損失合計	0	148
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△734	551
法人税、住民税及び事業税	82	140
法人税等調整額	△235	155
法人税等合計	△152	296
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△582	255
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△582	255

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△582	255
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△76	424
為替換算調整勘定	△36	49
退職給付に係る調整額	15	20
その他の包括利益合計	△97	494
四半期包括利益	△680	749
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△680	749
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症拡大の影響に関する会計上の見積り)

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)(新型コロナウイルス感染症拡大の影響に関する会計上の見積り)に記載した新型コロナウイルス感染症の今後の広がり方や収束時期等を含む仮定について重要な変更はありません。